

26-5A6-13日(日)

幼児期

「音を観る」は繊細な職人技をたえるうちごと...



佐々木 晃

鳴門教育大学大学院教授

「音を観る」は繊細な職人技をたえるうちごと... 遊びは文字通り「must」でも「have to」でも

子どもの生活リズムを考慮して

「夕方保育」の充実

「意欲ある子ども」「思いやりのある子ども」「感性豊かな子ども」を目指し、子どもたち一人一人の思いを大切に...

3年前から在り方を探究

ちぐさこども園では、幼稚園時代の平成20年のちぐさ保育園併設、同28年の幼保統合による認定こども園化という流れの中で「預かり保育」の時間を園で過ごす子どもが増加してきた...

ちぐさこども園(群馬県沼田市)

「夕方の過ごし方のねらいが共有されていない」「職員間で共有する場、時間が少ない」「環境設定の工夫が少ない」「安全第一は大切だが、子どもの遊びを見守るだけの保育になっていて...」



細かく多様な遊び・生活の環境が構成されている中で、子どもたちが好きなことを思い思いに楽しむ「夕方保育」の様子

「つながる保育」を目指す

令和3年度は、担当職員、ようじ、子どもたちが話し合いねらいを共有する日中の保育で特に楽しんで...

夕方の保育の担当を中堅保育教諭が中心の体制に変更。夕方の時間を担当する保育者の人数は変わらない...

それぞれの没頭を支える家庭的雰囲気をつくろう

2年目の令和4年度に、研修で「それぞれの没頭を支える家庭的雰囲気をつくろう」...

保育のこころもち



秋田 喜代美

学習院大学教授

探究をテーマにしている研究会での、具体的実践を基にした語り合い。今回は、5歳児が自分たちで本物のトランプを作ろうと試行錯誤する姿...

子どもと一緒に

任保育者が語る遊びの展開を園長先生がこれだけ傾聴していることが素晴らしい... 忙しい園では、保育者の展開について一人一人の保育者が語り、それを園長や他の保育者が傾聴することは難しくな...

2面に

障害ある子の就学相談 都教委が保護者向け手引

KAGAYA

「KAGAYA」は、星空の贈り物を5月1日(水)から開催... 同展では、星空写真家の代表作、新作AGAYAを32点含む100点を展示...

音を観る一本

半蔵門ミュージアム観音さまは、「音を観る」変化名「音を観る」を「音変化身」を以て、現存4月24日(水)から開催... 「観音」とは「音を観る」の対義語...



6.5月20日(月)

幼児に教



佐々木 晃

鳴門教育大学大学院教授

「外」を活用 心地よさを味わう

「夕方保育」の充実

「夕方」に適した保育の在り方を考え、日中の保育だけでなく「夕方」の保育も充実させていくための試行錯誤と挑戦を続け

ちぐさこども園(群馬県沼田市)

1日の生活をデザインした「夕方保育」を目指した取り組みを進めた、令和4年度の実践。その成果から「もっと夕暮れを味わいたい」「そのために外も活用したい」と考えた。こうしたことを踏まえ、令和5年度は「もっと心地よい「夕方」を」を目標とした実践を進めた。

「夕方を生かす」「外」の活用」について、令和3年度に戸外中心だった夕方の子どもたちの活動を室内遊びを中心に委ねてからは、好きな遊びを選んで過ごし、仲のいい友達同士でくつろぐことができるようにすることなど、室内環境充実に力を入れてきた。

その一方で、令和4年度に「夕方かくれんぼ」を行なったとき、子どもたちが夕方ならではの感覚を楽しんだことにより、保育者は「子どもたちが外で穏やかな夕日の光を感じたり、ぼんやりして空を見上げたり

3歳児が風や保育者、自分自身と対話を重ねているようなこと。事例は、幼児のウェルビーイングが保障される幸福な環境をつくり、探究や表現に導かれるワクワク感あふれる環境を一緒に創造していくことが重要だと教えてくれている。遊びには幼児の心を癒やし、困難に立ち向

「夕方」に適した保育の在り方を考え、日中の保育だけでなく「夕方」の保育も充実させていくための試行錯誤と挑戦を続け

「夕方」に適した保育の在り方を考え、日中の保育だけでなく「夕方」の保育も充実させていくための試行錯誤と挑戦を続け

「くつろぎ空間」で仲間と過ごす

「くつろぎの充実物的、室の環境構成の充実を図る。人的環境」では、夕方の上で、それまで以上に「くつろぎ空間」を意識するよう



自分たちで再構成した環境の中で思い思いに過ごす子どもたち



保育者の膝に座って絵本を読んでもらったり、2人でブロック遊びをしたりするなど、一人一人の「くつろぎ」が保障されている

「くつろぎの充実物的、室の環境構成の充実を図る。人的環境」では、夕方の上で、それまで以上に「くつろぎ空間」を意識するよう

保育のこころもち



秋田 喜代美

学習院大学教授

どの園も、子どもたちの水の体験を保障している。小学校以上では水の働きや三態変化などを教科で学ぶが、子どもが自由に水と関わり続けて遊ぶことは少ない。家庭でも生活のために水を使うことはあっても、遊びの材として自在に道具を選んで水の性質を

子どもの

感覚的に感じ、学ぶことは少ない。だからこそ、園生活では子どもたちに水の経験をふんだんにさせてあげたい。「ふんだんに」というと、自由に好きな量を使えることを考えてしまう。しかし、水の不思議さへの気付きやそこから探求・探究は、乳幼児のどの年齢でもさまざまな形

3面に 解説 幼児への英語指導

「小学生」夢をかなえも用意されている作文コンクールは、また、同「ライフランシング」は「キャリア」人生設計の啓蒙を 徳教育等の目的に2007年から あり、学校で開催されている。第18回となる今回より、コンクールへの取組を支援するオンライン金融経済教育行っている。Webサイト「夢をかなえ」からは「ライフランシング」の閲覧できる「キッズライフパーク」を開設。詳細は下記

新Webサイトも 第18回「小学生

「夢をかなえ」キッズライフパークの紹介と応募方法

教育実習の案内